

平成20年1月24日 臨時議会行政報告

まちづくり交付金事業に係る(仮称)郷の駅エリアについて報告いたします。

まちづくり交付金事業等により「郷の駅」を中心とした、市街地活性化の進捗状況は、すでに土地・建物等の補償等を対象者の皆様のご協力により完了し、現在は空き地となっておりますが、町有地として管理するところであります。

この際、関係者の町外流出等が心配されましたが、もともと町外において第2の生活圏を得ておりました2件が全面的に居を移されました。また、その他の方々につきましては、新築・改築などにより町内転居した方、高齢などを理由に町営住宅に入居された方など、町外流出が最少にとどまったものと安堵しているところであります。

今後も、町内に残られた皆様が定住、新たな投資を考えていただくことを期待しております。

さて、現在、空地となっております商業エリアの活用につきましては、これまで商工会が中心となり、運営内容等の検討を行ってきたところであります。その一つとして、昨年12月25日までにエリア内における商業活動を展開できる町内事業者を公募いたしました。その結果、全ての公募要件が満たされたものではありませんが、要件整理の上で応募したい旨の申し出が1件あったところであります。

これに対し、今年1月10日には商工会が中心となります活性化委員会により、町内事業者が提出された資料の検討が行われ、また、1月22日には商工会役員会においても、その対応を協議した旨の報告をいただいております。

なお、提出資料の中で経営体制の確立や収益性について、より詳細な検討が必要であるとして、事業者と商工会、活性化委員会等において、更なる協議を行っていききたいとの申し出がありましたので、慎重を期する上でも了承したところであります。

今後につきましても、早期に商業エリアの計画が議会、町民の皆様にご報告ができますよう努めてまいりますので、ご理解を賜りましてご報告といたします。